

西日本統括支部 かわらばん

日本スクエアダンス協会 西日本統括支部 2011.1. 19

平成 22 年度 第 2 回総務委員会報告

昨年の 11 月 23 日（火）に広島市東区民文化センターにおいて西日本統括支部の総務委員会を開催しました。日本スクエアダンス協会が昨年 4 月 1 日に一般社団法人としてスタートしたことに伴い、統括支部の予算決算が一般社団法人の連結決算とされたため、1 月に平成 23 年度の統括支部予算書を、4 月に平成 22 年度の統括支部決算書を S 協本部に提出することとされました。そこで、平成 23 年度の予算書を早期に作成する必要が生じたため、11 月に開催したものです。中国、四国、九州各ブロックの総務委員 9 名全員が参加し、協議した結果をお知らせします。

1 2011 年度の事業計画と予算について

平成 22 年度予算書と平成 21 年度の決算書をもとに、以下の内容が決定されました。

- (1) 支部の 2010 年度の残金は、そのまま寄付金扱いで一般社団法人に引き継いだ。
- (2) S 協本部からの還付金は 6 月の総会で決定される支部の人数をもとに予定額を計上する。
(平成 22 年度は、8 月 4 日、458,700 円入金)
- (3) 総務委員会は 2 回 / 年開催として予算化する。時期は 4 月と 11 月を目処とする。
3 月末の各ブロック幹事会で決算書（2 月末で締めて 3 月末までの見込みをつける。）を承認してもらい、それを纏めて支部の決算書とする。
- (4) 支部幹事会は平成 23 年度は日本フォークダンス連盟 55 周年記念大会（第 27 回西日本ジャンボリー）の中で開催する。（1 時間程度の短時間とする。）
- (5) 新たにブロックの総務委員会も開催できるよう予算化する。表現は「ブロック幹事会・総務委員会」とする。予算は中国と九州で 16 万円、四国で 12 万円とする。
なお、他の項目についても、各ブロックで予算化しやすいように、支部の予算書の備考にブロックの内訳を記載するようにする。
- (6) 事務費中の役員経費は役員に限ることとする。
- (7) 県連への協議会通信費（20,000 円）の支払い用として、各ゆうちょ銀行に限定して振り込み先を各県連で設定するようブロック長からお願いする。
- (8) かわらばんは来年も 2 回発行することとし、12 万円を計上する。
- (9) 講習会援助費としての支部外講師の補助（最大 5 万円）を四国ブロックとして S 協本部に申請する。（結果は 1 月に決定される見込み。）
- (10) 講習会参加者への補助（千円 / 人）は平成 23 年度以降廃止することとし、統括支部への上納金として負担していた負担金 300 円も廃止する。（ただし、西日本ジャンボリーの負担金 300 円は現状のままとする。）
- (11) S D 普及活動費は 10 万円の予算とする。（新設クラブへの援助として指導者派遣に伴う交通費の半額を助成する。）
- (12) コーラー研修費を「指導者育成費」として活動費に入れる。会場費・資料代・講師費等

を対象とし、食事代は含まない。中国5万円、四国4万円、九州3万円、合計120,000円を計上する。

(13) S D普及事業等で総務委員が出張する場合、交通費を申請できることとする。

2 会計処理とブロック講習会の結果について

各ブロックでの講習会の結果を受け、以下の内容が確認もしくは決定された。

(1) 今後会計処理はS協が定める「収支予算書統括表」をベースに収支計算書統括表の西日本欄を埋める作業となる。

(2) 2010年度の各ブロックの決算は12月末で一旦締めてみる。

(3) 講習会の決算書中の講師謝金で発生する税金の記載については、借り受けとして収入の欄に計上する。また、支出の欄で講師謝金に税金を加えた額を記入する。

謝金で税金が発生した場合は、各人の住所を記入した一覧表と領収書を財務担当の増田までその月の月末までに送付する。

(4) S協上納金は来年度から講習会では廃止し、支部ジャンボリーは継続する(金額は300円/人で変更なし。)。平成22年度の決算は統括支部への上納金を赤字であっても計上する。

(5) 統括支部における予算書の作成は1月まで、決算書の作成は4月までとの作業スケジュールがS協本部から示された。

(6) 講習会の主管団体の事務局費は30,000円であることを確認。

(7) 講習会、研修会、ジャンボリー等のS協予算の4事業については、参加費、雑収入等は、事業収入とし、その事業ごとに生じた会場費、機材借用費、スナック費、会議費、交通費、食事代などの費用を事業費としてまとめて計上する。

3 各ブロックコーラー研修会について

中国と四国の活動状況が報告され、今後コーラーを増やす活動を継続することが確認された。

4 かわらばん19号について

各ブロック講習会結果、ブロックコーラー研修会結果、今後のパーティ等の予定に加えて、九州で行われるFD55周年の宣伝と新クラブ(カーターズベル、赤磐SDC)の活動状況を重点的に入れることになった。

発行は1月末とし、12月末までに各ブロックの原稿を原井まで送付することとされた。

5 平成23年度支部ジャンボリーについて

現在福岡県連で準備中であるが、12月上旬には西日本各クラブ向けのチラシが必要であり、早く制作するよう働きかけることになった。

6 日本スクエアダンス協会中期行動計画について

計画の決定事項として、環境が整い次第九州ブロックを支部化することを実施項目に掲げていることが紹介され、総務委員は周知しておくこととされた。

7 その他

次回開催予定

2011年4月29日に同じ場所・時間で行う。(次々回11月23日予定)

支部幹事会は、5月15日の8時半から1時間程度を予定。

以上

文責 原井耕治

平成22年度 第1回四国ブロック幹事会 概要報告

1. 日時・場所： 平成22年9月19日11時半～13時半、阿南市富岡公民館
(第25回四国ブロックSD講習会 2日目昼休み時間)

2. 議題・議事概要

支部・ブロック大行事などを中心に打ち合わせた。主な審議内容は以下のとおり。

22年度コーラー研修

コーラー育成を効果的に進めるため、受講者の近くで繰り返し行う、いわば、地域密着型の研修を実施する。(今年度は、徳島・香川地区、愛媛地区の2地域でそれぞれ実施)

23年度(第26回)四国ブロックSD講習会

主管SD香川県連で実施(2011年10～11月頃予定)

ブロックSD講習会標準モデル検討

・講習会の計画・実施・評価について、標準モデルを次回主管(香川県連)が中心となって検討する。

・26回は、外部講師招聘を申請する。

2012年支部ジャンボリー

愛媛県が担当

SD普及活動事業支援

えひめ県民文化祭でのSDデモ出演事業(2010年11月、えひめSDC主管)をブロックで支援する。

その他

次回四国ブロック幹事会： 2011年3月21日(祭)、高松市民文化センター

平成22年度 西日本SD講習会(四国ブロック)概要報告

1. 事業概要

日時・場所： 平成22年9月18日13時～19日15時半、阿南市文化会館

実施状況：

コース	内 容	受講者数(クラブ数)
MSダンサー	復習・踊り込み	25(5)
プラスダンサー	復習・踊り込み	34(7)
RDダンサー	フェイズ ・ の基礎	21(7)
コーラー養成	コールの基礎・実習	5(4)
		合計 85(12)

特記事項

・今回は、2日目の昼食後の1時間(幹事会と平行実施)を利用して、全体交流タイムとして、全コース参加のSD、RDダンスタイムを設けたところ、好評であった。

九州ブロック講習会報告

九州ブロックでは9月18日、19日2日間にわたり、一般社団法人としては九州で始めて、また日本フォークダンス連盟福岡県支部の共催を得て久留米市で開催されました。

18日はホテルニュープラザを会場に、19日は久留米市共同ホールを会場に、受講者68名が参加され有意義な講習会となりました。

コースは、コーラーコースを中守氏、井上氏
MSコースを中川氏
PLコースを森氏
ADコースを原井氏
全体講義を福岡県連会長の前田氏

が担当、講習会終了後検定試験が行われ、今回は3級に3名が受験され皆さん合格されました。

受講者、検定合格者の皆さんはそれぞれのクラブ、サークルでの活躍を期待いたします。

なお講習会前に総務委員会を開催

議題 表彰事業選出について。

各クラブ行事予定。

日連55周年記念事業、西日本SDジャンボリーについて。

を議題として実施されました。

指導者派遣助成事業の終了を迎えて カーターズベル スクエアダンスクラブ

カーターズベル・スクエアダンスクラブは西日本統括支部より指導者派遣の助成をいただき、今年で3年が過ぎようとしています。この間のクラブの活動について報告いたします。

平成19年11月、三次市甲奴町のイベント“カーターピーナッツ収穫祭”に出演したことから始まります。甲奴町には広島SDの会に20数年所属して、古里である同町に移動した藤達昌子（現在、クラブの会長）さんの“地元でスクエアダンスを踊りたい”との意向により、広島・東広島から多くのスクエアダンサーが駆けつけました。これを見ていた方を中心に、新人さんに呼びかけ10数名で平成20年4月にビギナーをスタートしました。途中ではメンバー減少により、再募集を掛けて何とか10名の卒業にこぎつけたのでした。

平成20年11月、甲奴町と交流のある第39代米大統領のジミー・カーターさんと交流の源になった正願寺の鐘をイメージした『カーターズベル・スクエアダンスクラブ』を設定して、カーターさんの許可を得るために手紙を出しました。翌21年3月OKの返事が来て正式にクラブの名称が決まり、S協に加入しました。この年は2名、今年と同じく2名がビギナーを卒業してメンバーに加わり総勢14名になりました。昨年8月には第1回アニバを行い、100名を超えるSDの仲間を甲奴町に迎えました。甲奴町とカーター大統領、カーター大統領とスクエアダンスについては、S協機関紙平成21年1月号を参照ください。）

毎年の“カーターピーナッツ収穫祭”には出演を続け今年度で4回の連続です。今回は広島・東広島から5名の応援をいただきビギナー生も含めて2セットで舞台を努めました。その他、地域のイベントにも出演して、一般の方に知っていただくようチャンスを作っております。



また、昨年4月にはアメリカの有名コーラーのTony Oxendineのメールマガジンで甲奴町の正願寺の鐘とカーター大統領やカーターズベル・スクエアダンスクラブ命名の由来が詳しく紹介されました。平成19年5月に日本縦断のSD旅行をしたピーター&ベアテも次回の来日にはクラブ訪問をしたいとの連絡を受けています。

指導者派遣の助成は今年度で終了いたしますが、次のビギナーではクラブ員16名以上(2セット)を目指してビギナー勧誘に頑張ろうと話合っています。3年間の援助、有難うございました。
記 安元正明

赤磐スクエアダンスクラブ誕生ストーリー

赤磐スクエアダンスクラブ 事務局
橋本恵里子

2009年10月、岡山県に3つ目のクラブを立ち上げるべく、私の実家のある赤磐市で活動を始めました。例会場の公民館を借りるには、市内在住の方に代表者になってもらわなくてはなりませんでした。近くのフォークダンスクラブの方の紹介により、現代表の塩見エミ子さんと出会い、支援をいただき、11月から毎週金曜の夜、指導者の夫と共に高速を走って、赤磐市へ通うこととなりました。けれども、寒い会場に3~4人しか集まらず、カントリーや雑談で終わるばかりで年末を迎えました。2010年年明けに、昼なら行けると言っていた人が何人かいたのを頼りに、例会を毎土曜日10時~12時に変更して、2月から再スタートしました。40年程前に一緒に踊っていた男性を中心に、男性4人女性5人でビギナークラスを進めて行きました。ほぼ全員が初心者というのは、指導が大変な面もありましたが、全員が同じ目標に向かって一気に盛り上がった感じでした。早いとは思いましたが、その勢いで3月にS協に加入致しました。ぎりぎりの人数なので、コーラーを入れて8人で、踊りながらのコールの日も何度もありました。コーラー込みで7人で、今日こそ絶体絶命かなという日、なぜか会員ではない昔の仲間がふらりとドアを開けて入ってきてセットができたことも何度かありました。S協川柳にある「あと一人遅れて来ても拍手され」とはまさにこのことですね。8月に無事ベーシックを終え、修了証を渡しました。11月には、公民館まつりに出ようということになり、赤磐にちなんで全員真赤なコスチュームを揃えました。発表会では、ハッシュ、シンギング、カントリーで賑やかに会場を盛り上げました。そのDVDは、クラブの宝ものです。12月19日は、岡山SDCのクリスマスパーティーに5人が参加してパーティデビューを果たしました。実り多い一年でしたが、今後は何とか2セットできる楽しいクラブを目指して活動してまいります。

西日本支部の皆様、どうぞよろしくご支援ください。



中国ブロック第1回コーラー研修会の報告

平成22年9月12日に広島市東区の東区民文化センターにおいて西日本統括支部中国ブロック主催のコーラー研修会が開催されました。中国ブロックの各クラブでコールをしている人やコールの勉強をしている人を対象にコールにかかるいろいろな情報の交換、コール技術の向上などを図ろうとするものです。

初回ではありましたが、16人のコーラーと1人のダンサー計17人が集まりました。

10時から11時まではいつ、どこでコールしても成功しそうなコールのコレオグラフィーであるスタンダードアプリケーションについて東広島SDCの安元さんから研修を受け、11時から12時までゲットアウトの新しいスタイルであるCRAMSについてアステールナインスクエアーズの原井が研修を実施しました。

13時から、コーラー同士の情報交換と次回の研修をどうするかについて話し合わせ、次回はCRAMSの実践を行うこととし、平成23年2月11日に第2回を実施することとされました。

15時からの1時間、スタンダードアプリケーションの実践をコーラーがマイクを手にとって実際のコールをしました。

初めての研修会で最初は何をやるのかつかみきれないところがあり、硬い感じがありましたが、スタンダードアプリケーションの実践でマイクを持ってコールをする段になるとみんなコーラーの顔になり、真剣に取り組んでいました。一定の成果があったと思います。

文責 原井耕治

平成22年度 四国ブロックコーラー研修 概要報告

1. 事業概要：コーラー育成を効果的に進めるため、受講者の近くで繰り返し行う、いわば、地域密着型の研修を実施する。具体的には、講習会コーラーコースのフォロー研修を四国ブロック東地域（徳島、香川）で実施し、松山SDC主催のコーラー研修を、四国ブロック西地区研修として位置づける。

2. 実施状況：

東地区コーラー研修（徳島、香川）

参加者：徳島 - 2クラブ、4名 / 香川 - 1クラブ、1名 計5名（経験者1名、初心者4名）

実施時期・回数：2010年12月～2011年1月、3回実施（2月にもう1回実施予定）

内 容：コールの実技実習、シーケンスの作成学習

西地区コーラー研修（愛媛）

参加者：愛媛 - 2クラブ、6名（初心者6名）

実施時期：～2010年12月、4回実施

（12月松山・新居浜合同クリスマスパーティで、コーラーデビュー）

内 容：コールの実技実習、シーケンスの作成学習

**申込は終わりましたか？ 西日本ジャンボリーの締め切りは、
2月末です。今すぐ申し込みを！**

事務局：原井 耕 治 〒733-0852 広島市西区鈴が峰町30-4-503 Tel・Fax 082-299-7971

編集局：河村 順 子 〒745-0121 周南市須々万奥1394 Tel 0834-88-0026・Fax 0834-88-2367

西日本統括支部ホームページ <http://www.milky.ne.jp/~jsds-nis/>